

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

春日井市立勝川小学校(愛知県)【協力校】

【取組内容】 ②情報活用能力を育むための取り組み ～情報モラル教育を通して～

児童の振り返り

編集（思考）

お家で撮った写真をたくさんSNSに投稿したからだと思います。なぜなら、家で写真や動画を投稿したりすると、音が入っていたり、窓から見える景色や目に映る景色などで個人情報が特定されてしまうからです。もしSNSに夢中になっていたら、写真を投稿しすぎないようにしていたら、たくさんの人に個人情報を知られていなかったんじゃないかなと思います。

交流（友達の意見）

日常生活や学校での生活などの写真を投稿していたからや友達の名前を書いていたから。一回バズって調子に乗り、たくさん写真を載せて個人情報を出してしまったから。ネットにその日あった出来事をすぐに投稿してしまっていたから。もしどうしても投稿しなかったら、少し時間をかけて、投稿すればよかったと思う。

最後の考え

今日は情報モラルについて学びました。個人情報を、ネットやアプリに投稿するのはとても危険なことということがわかりました。勝手に出会い系サイトに載せられてしまったりすることがわかりました。アプリやサイトに写真を載せる場合は、載せてもいいのかを考えることが大切ということがわかりました。もし写真をとって、友達映っているときの写真を投稿してしまうと、友達も危険が及ぶかもしれないということがわかりました。情報を流すと、もう戻れなくなってしまいうので写真を投稿する時は気をつけるといいことがわかりました。写真には位置情報がついていることもあるので、その写真のデータを見ると家や学校の住所がバレてしまうことがわかりました。私はチャットなので写真などを出すときに何も考えずにしてしまうので、これからはネットやアプリに写真などを投稿する場合は本当にこれは投稿して大丈夫なのかを考えてから投稿するようにしたいです。

これからは、文章一つ一つをしっかりと確認してから送ろうと思いました。冗談で書いたら、本当に行くということ捉えられてしまうことがあるので気をつけようと思いました。**書き込んだ内容は、その瞬間から事実として世界に広がってしまうと知ってネットの使い方を見直そうと思いました。**理由は沢山のの人に迷惑がかかるからです。冗談でも書き込んでしまうと、脅迫などの犯罪になると知ってとても驚きました。LINEなどで友達から朝早くや夜遅くに連絡が来たり、スタンプ連打が来たりするととても嫌な気持ちになるので**自分ではしないように気をつけようと思いました。**

情報モラルに関するポータルサイトを使って、各学年の実態に沿った情報モラル教育を学期に2回程度行っている。実施内容は、表計算アプリに記録しておくことで、系統的な指導に役立てるようにしている。

児童の振り返りから、危険性を知ることによって普段の使い方を見直すなど、自分の生活につなげて考える姿が多く見られるなど効果的な実践となった。

R6 情報モラル実施状況

4～5月にかけて、各学年で指導内容を決めて、実施してください。指導後、チェックをつけてください。
*広教ポータル動画が追加されたので、各学年の実態に応じて教材を変更してください。

教材コード	教材名	6年生	6-1	6-2	6-3	6-4	
A-06	ケータイと私たちの役割						
A-17	アプリのインストール						
A-24	えっ！こんな人だったの！						
B-24	写真の投稿	✓	✓	✓	✓		
B-25	SNS						
B-26	ネットいじめ	✓	✓	✓	✓		
B-33	安易な投稿で炎上						
C-04	ネット依存症						
C-14	著作物の利用						
C-21	架空請求や不当請求						
B-23	不適切な書き込み	✓	✓	✓	✓		